学校番号	319

令和３年度　家庭科

教科	(専)家庭	科目	フードデザイン	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「フードデザイン」　（教育図書）						
副教材等	ＮＥＷ　ＦＯＯＤ　ＭＡＳＴＥＲ　ＳＥＡＬ（教育図書）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

食生活を様々な側面から学び、家庭や地域で実践できる力を身につけましょう。
・栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識を身につけます。
・知識を確実なものにするために実習を積極的に行ない、確かな技術を身につけます。
・身につけた知識・技術を家庭生活や地域に活用し、食育を推進する力を身につけます。

２　学習の到達目標

栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識と技術を習得させ、食生活を総合的にデザインするとともに、食育の推進に寄与する能力と実践的態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどについて積極的に取り組み、実践的な態度を身につけている。	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどについて家庭生活に応用できるように実生活を見つめ直し、改善するよう思考を深め、考えを表現することができる。	家庭や地域における食育推進活動を行なうことができるために必要な献立作成、食材の選択、調理の技術を身につけている。	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどについて理解し、様々な面から食生活を見直し、食生活を総合的にデザインできる知識を身につけている。
評価方法	学習状況の観察 ワークシートの記述 レポート	状況の学習観察 ワークシートの記述 実習活動 実習記録表 発表	学習状況の観察 ワークシートの記述 作品 実技テスト 実習記録表 実習活動	学習状況の観察 ワークシートの記述 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	健康と食生活 栄養素のはたらき 調理実習	○体のしくみと食べ物 ○栄養素 ○食事計画・献立作成 ○調理実習	○ ○ ○ ○	 ◎ 	 ◎	○ ○ ○ 	a:現代の食生活や栄養素の役割について関心をもち、意欲的に学習しようとしている。 b:栄養のバランスを考え、各ライフステージに適した食事計画を立て、表現している。 c:健康で安全な食生活を営むために必要な栄養、食品、調理、食品衛生等の技術を身につけている、 d:栄養素について科学的に理解し、栄養バランスを考えた食生活を営むために必要な知識を身につけている。	学習状況の観察 ワークシート 実習計画 実習記録 レポート 定期考査
2	食品の特徴 食品加工の目的 調理実習	○食品の特徴と調理上の性質 ○食品の保存方法、食中毒 ○食品の選択と表示 ○調理実習	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ 	 ◎	○ ○ ○ 	a:食品の特徴や安全、食材の選択などについて関心をもち、意欲的に学習しようとしている。 b:食品の特徴や安全、食材の選択などについて課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:食品の特徴や安全を考えて食材を選択し、調理上の性質を上手く利用した調理ができる技術を身につけている。 d:食品の特徴や安全、食材の選択などについて科学的に理解し、安全な食生活を営むために必要な知識を身につけている。	学習状況の観察 ワークシート 実習計画 実習記録 レポート 定期考査

3	調理の基本　テーブルコーディネート　食育の促進　調理実習	○調理の目的と調理操作 ○和洋中のテーブルコーディネートとマナー ○食育推進活動 ○調理実習	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ◎	○ ○ ○ 	a:調理操作やテーブルコーディネート、食育について関心をもち、意欲的に学習することができる。 b:日常の調理操作やテーブルセッティングについて見つめ直し、より適切な操作、テーブルコーディネートについて考え、表現している。 c:適切な調理操作を行なって調理し、楽しく食することのできるテーブルコーディネートができる技術を身につけている。 d:調理操作の重要性を理解し、楽しく食べるためのテーブルセッティングの方法を認識している。食育基本法の趣旨を理解し、食育を推進するために必要な知識を身につけている。	学習状況の観察 ワークシート 実習計画 実習記録 レポート 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。